



株式会社 ピクセラ

2005年3月中間期決算説明会



会社概要

中間決算概要と通期見通し

営業の現況

事業展開

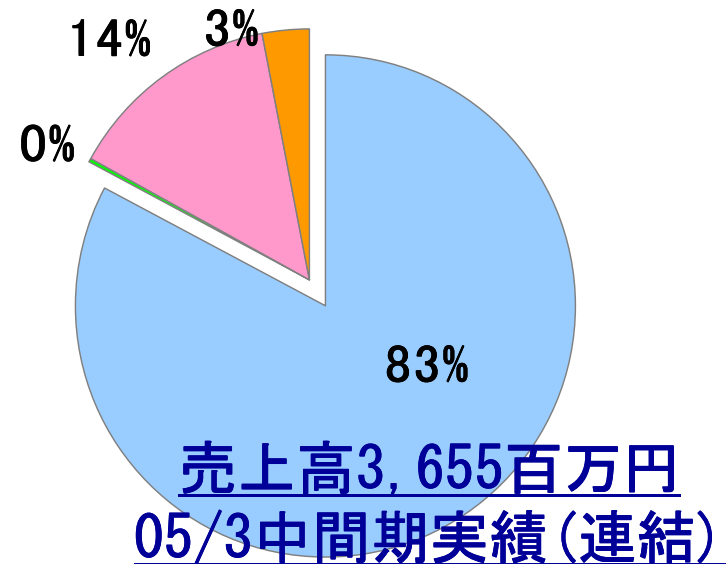
会社概要

概 要

設 立 : 1982年 6月
拠 点 : 大阪本社、東京支社
資 本 金 : 2,555百万円
(05/3中間期)
従業員数 : 184人
(05/4末)
関連会社 : 連結子会社 1社
持分法適用会社 3社
取 引 先 : PC、電機メーカー等
事業内容 : コンピュータ周辺機器
およびソフトウェアの
開発・販売

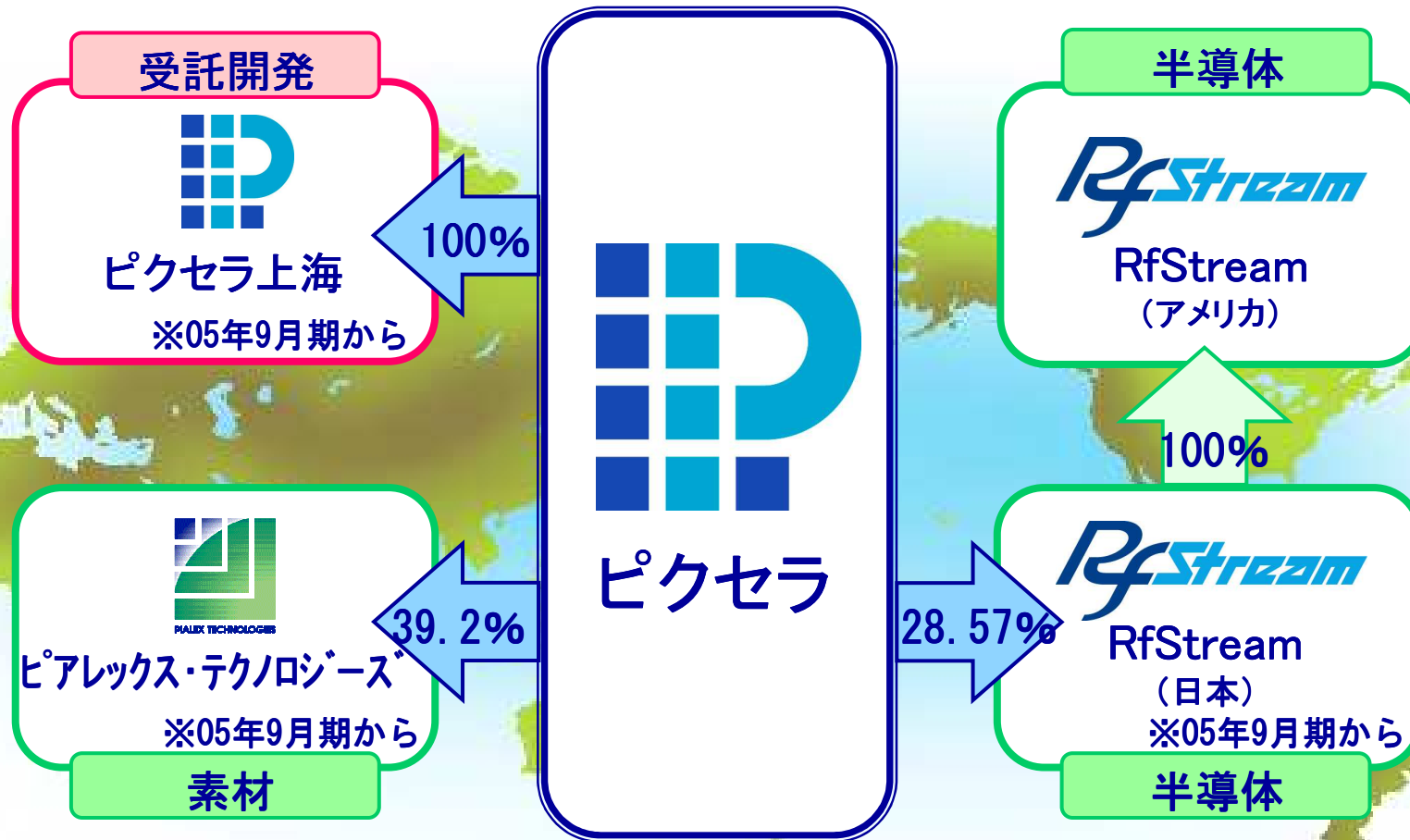


製品群別売上高実績



- ◆ハードウェア TVキャプチャー、DVDドライブ、半導体
- ◆ソフトウェア 画像処理ソフト、TVアプリ、制御ソフト
- ◆ロイヤリティ デジカメ等に同梱・バンドルされる
画像処理ソフト(出荷台数に応じて売上)
- ◆受託開発 主にドライバ、ロイヤリティソフトの開発
およびバージョンアップ

ピクセラグループ



※ 矢印内の数字はピクセラの出資比率

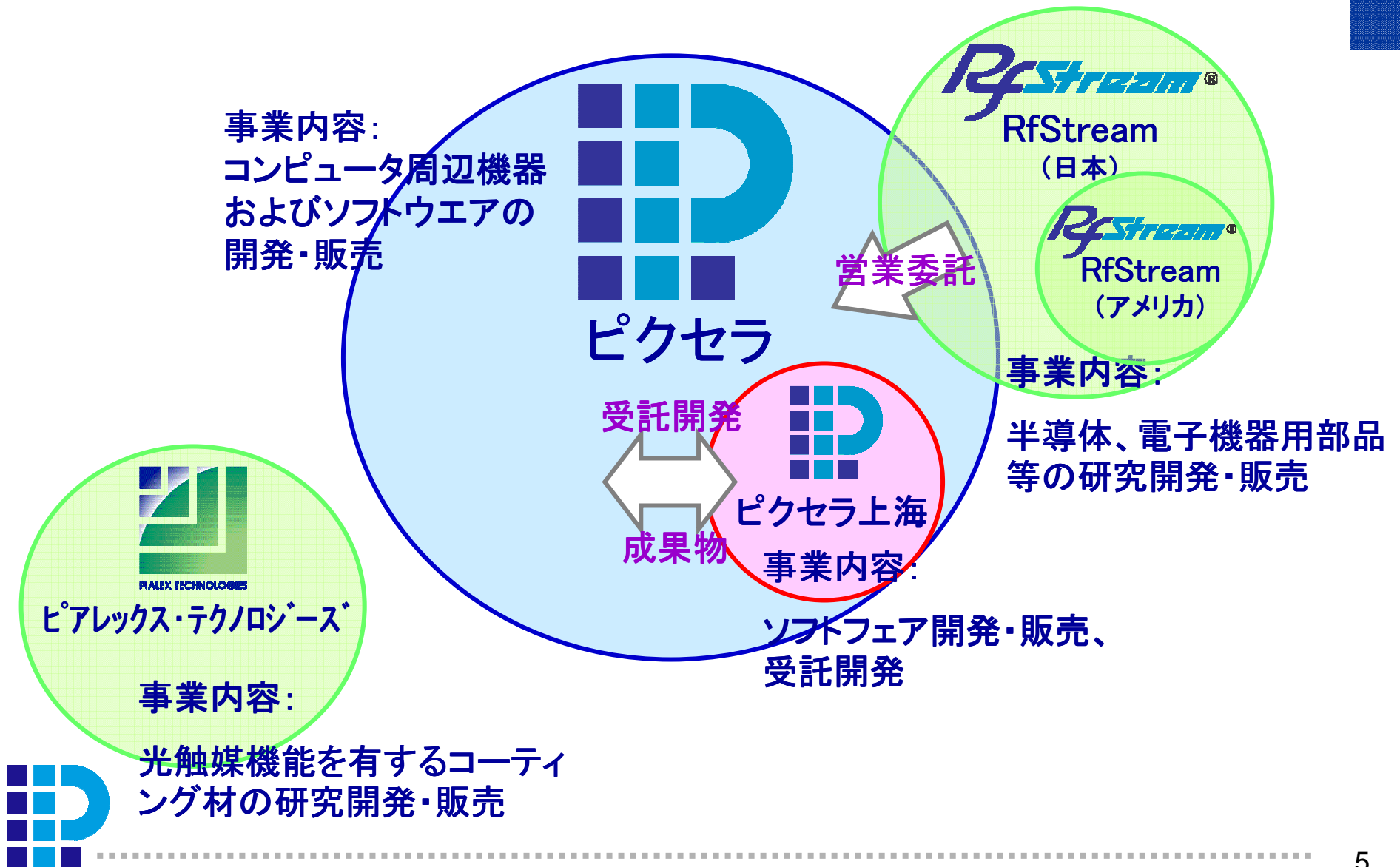


連結子会社



持分法適用関連会社

ピクセラグループ事業内容





会社概要

中間決算概要と通期見通し

営業の現況

事業展開

05/3中間期実績の計画比（連結）

（単位：百万円、％）

	2005/3中間期 実績			2005/3中間期 期初計画	
	金額	構成比	計画比	金額	構成比
売上高	3,655	100.0	92.2	3,964	100.0
売上総利益	785	21.5	82.5	951	24.0
営業利益	△108	△3.0	—	△51	△1.3
経常利益	△199	△5.5	—	△51	△1.3
純利益	△222	△6.1	—	△51	△1.3



05/3中間期実績の計画比(単体)

(単位: 百万円、%)

	2005/3中間期 実績			2005/3中間期 期初計画	2004/3中間期 実績
	金額 構成比	計画比	前期比	金額 構成比	金額 構成比
売上高	3,655 100.0	92.2	111.5	3,964 100.0	3,280 100.0
売上総利益	784 21.5	80.5	73.0	974 24.6	1,074 32.8
営業利益	△108 △2.9	—	—	70 1.8	470 14.3
経常利益	△125 △3.4	—	—	56 1.4	452 13.8
純利益	△148 △4.1	—	—	32 0.8	258 7.9

05/3中間期業績のポイント

◆ハードウェア

(キャプチャー製品)

□数量の減少

- ・ノートPC向け計画達成
- ・デスクトップPC向け計画未達

□単価の達成

- ・デスクトップ、ノート向けともに計画単価達成

(半導体製品)

□数量の減少

- ・搭載予定機種の縮小

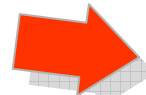
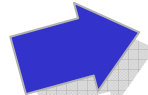
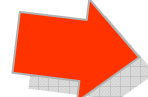
◆ロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

□数量の減少

- ・ImageMixer、TVアプリともに計画数量未達

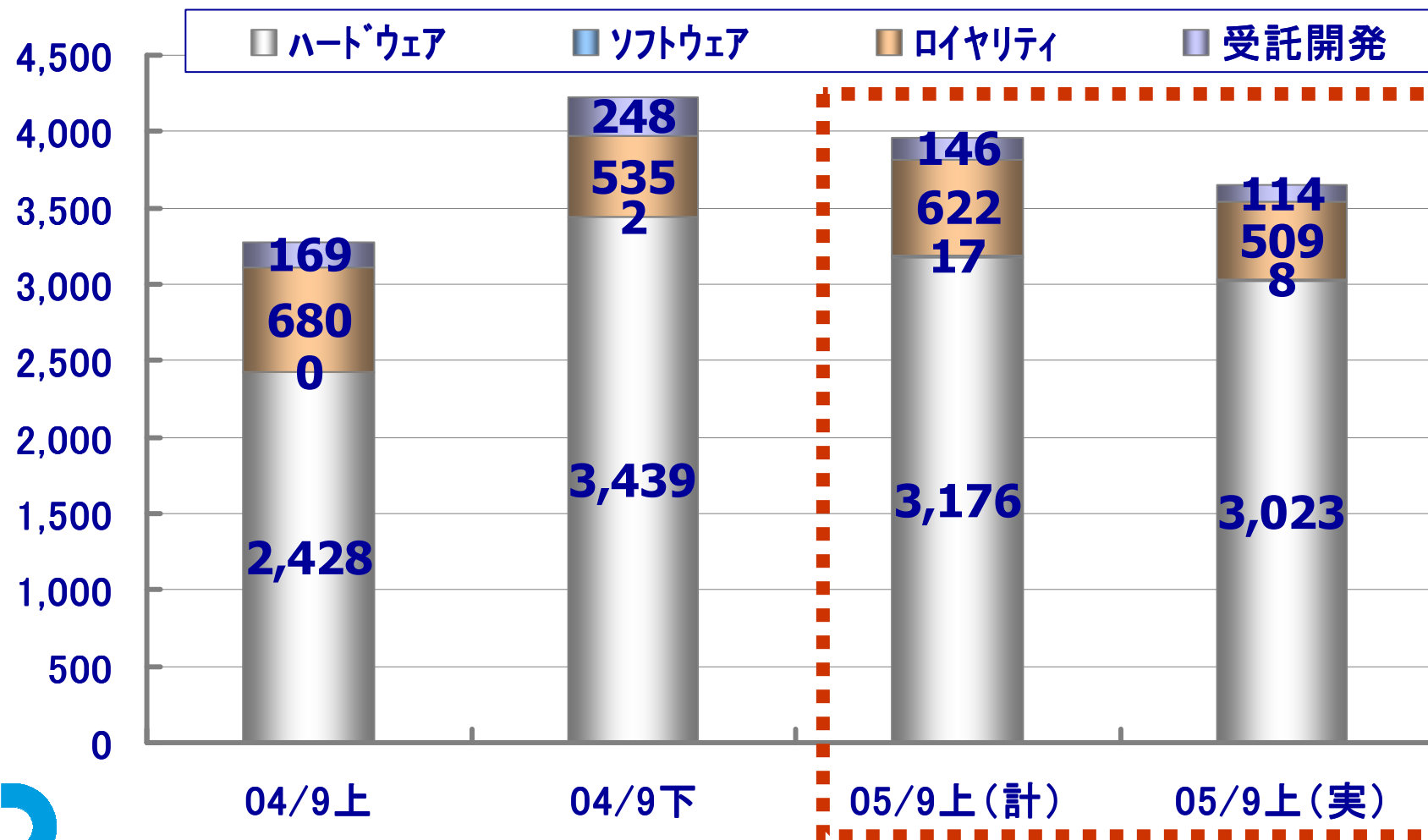
□単価の低下

	数量	単価
ハードOEM製品		
ロイヤリティ製品		



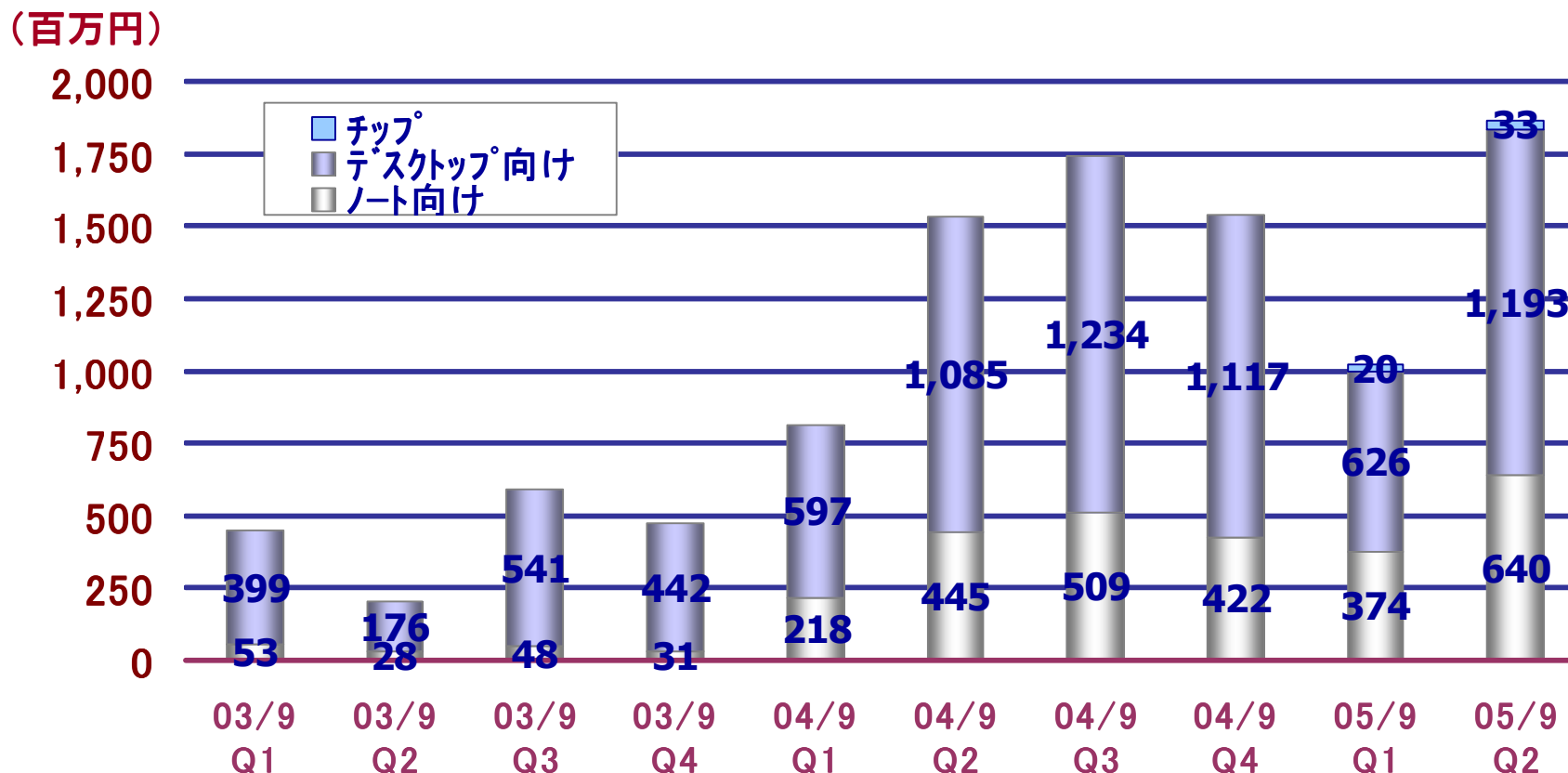
製品群別の売上高推移

(百万円)

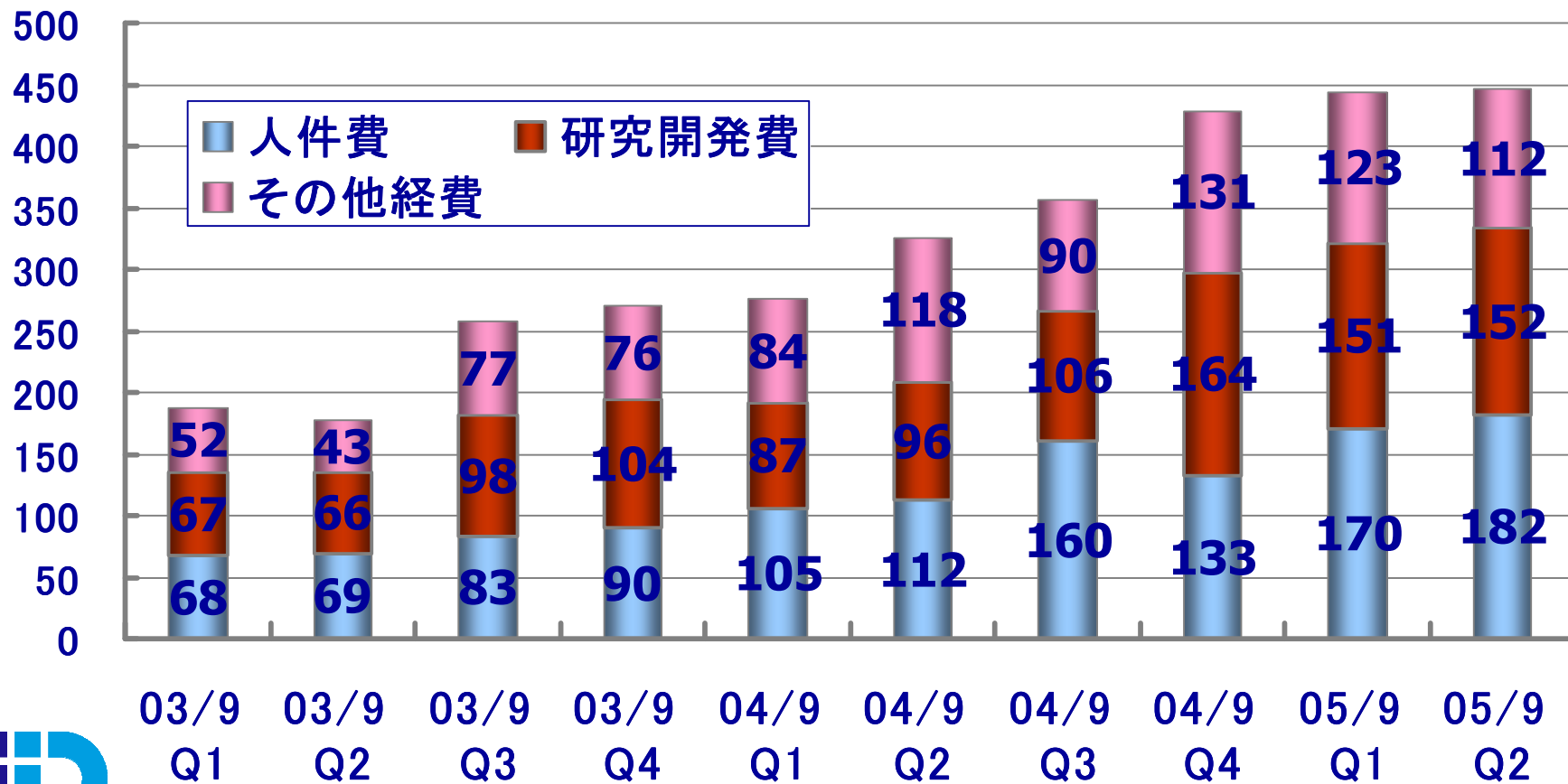


ハードOEM向け種類別

【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



四半期毎の販管費の推移



05/9期見通し

(単位: 百万円、%)

	04/9期単体		05/9期単体(予定)		05/9期連結(予定)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,506	100.0	8,234	100.0	8,234	100.0
売上総利益	2,262	30.1	1,976	24.0	1,988	24.1
営業利益	869	11.6	127	1.6	134	1.6
経常利益	837	11.2	100	1.2	△51	△0.6
当期純利益	478	6.4	59	0.7	△92	△1.1



05/9期の見通しのポイント

◆ ハードウェア

□ 新製品の発売

- ・ 地上デジタルキャプチャーボード

(百万円)

	05/9期 1Q	05/9期 2Q	05/9期 3Q	05/9期 4Q
売上高	—	6	186	269

◆ ロイヤリティ

□ TVアプリの拡販

- ・ テレビアプリケーション

(百万円)

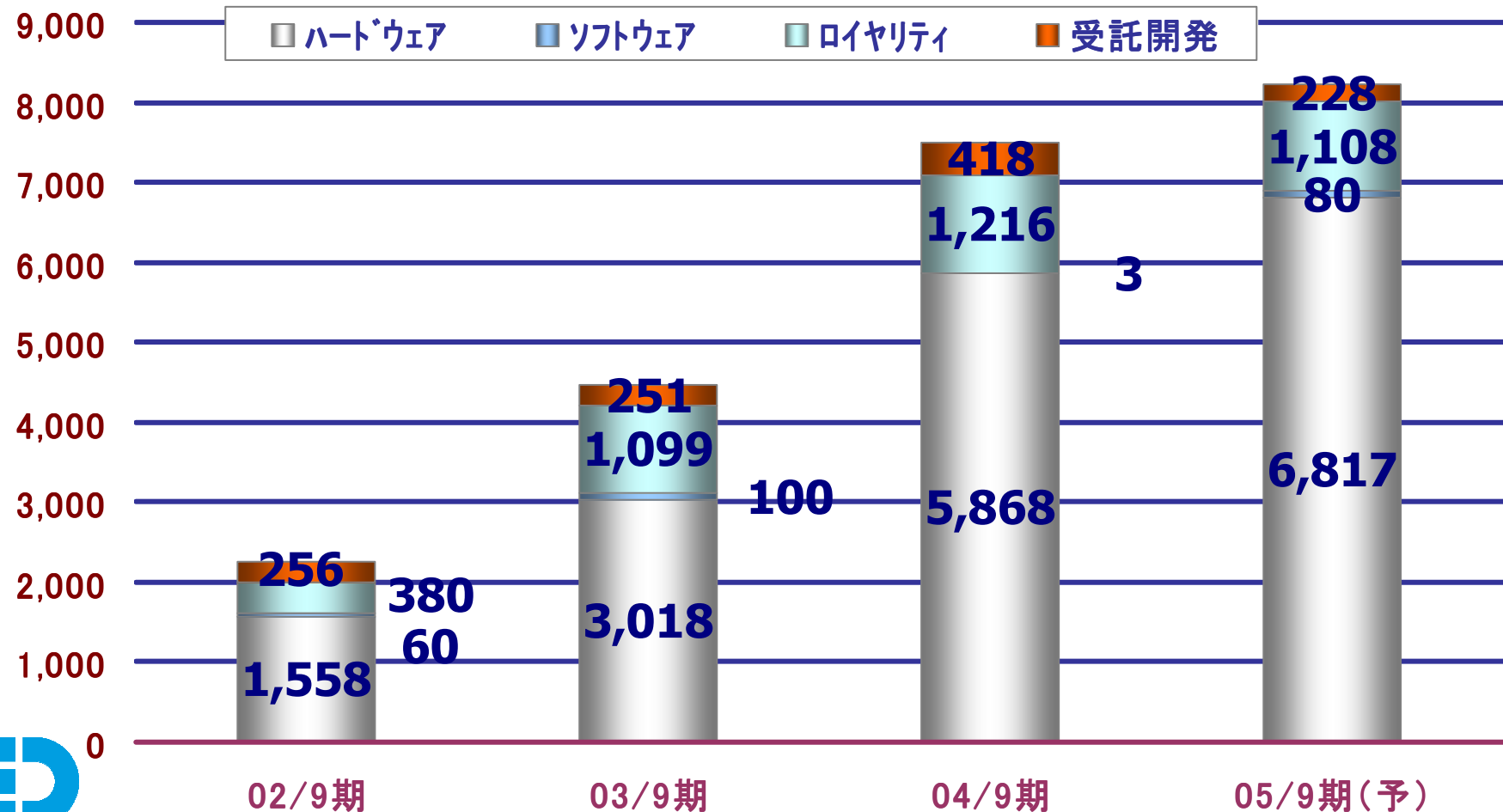
	05/9期 1Q	05/9期 2Q	05/9期 3Q	05/9期 4Q
売上高	12	11	59	82



売上高の見通し

【製品売上高構成推移】

(百万円)

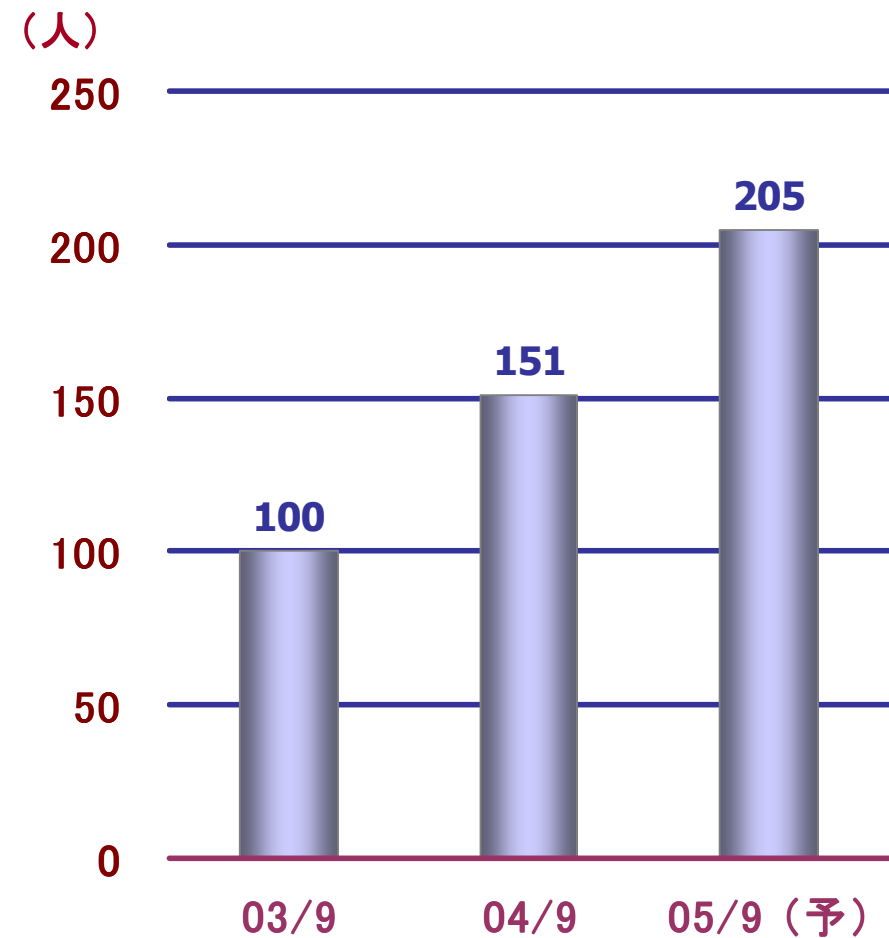


販管費及び人員計画

【販管費】



【人員数】



四半期毎の売上高・経常利益推移





会社概要

中間決算概要と通期見通し

営業の現況

事業展開

トピックス

■テレビキャプチャー新製品

□地上デジタルテレビキャプチャーボード **日本初**

(デスクトップPC用)

□高画質W録画対応アナログテレビキャプチャー
ボード(デスクトップPC用)

□低消費電力アナログテレビキャプチャーボード

(ノートPC用、RfStreamシリコンチューナー搭載)

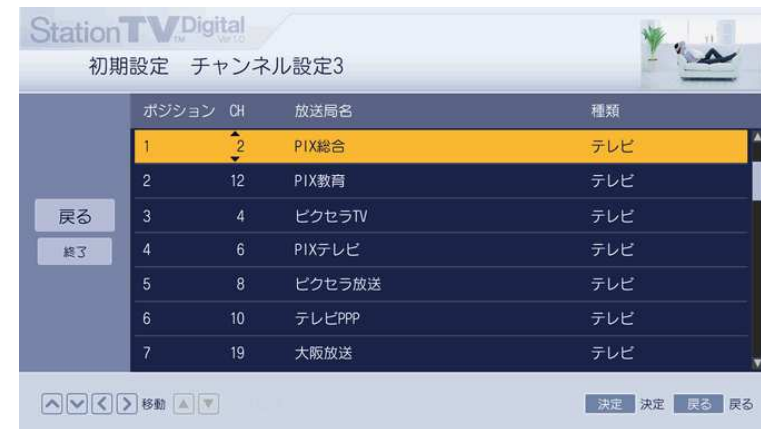
■ISO14001 認証取得



トピックス テレビキャプチャー新製品 1

～デジタル放送対応テレビキャプチャーボード出荷開始～

- ◆地上デジタル放送対応
- ◆BSデジタル放送対応
- ◆110度CSデジタル放送対応



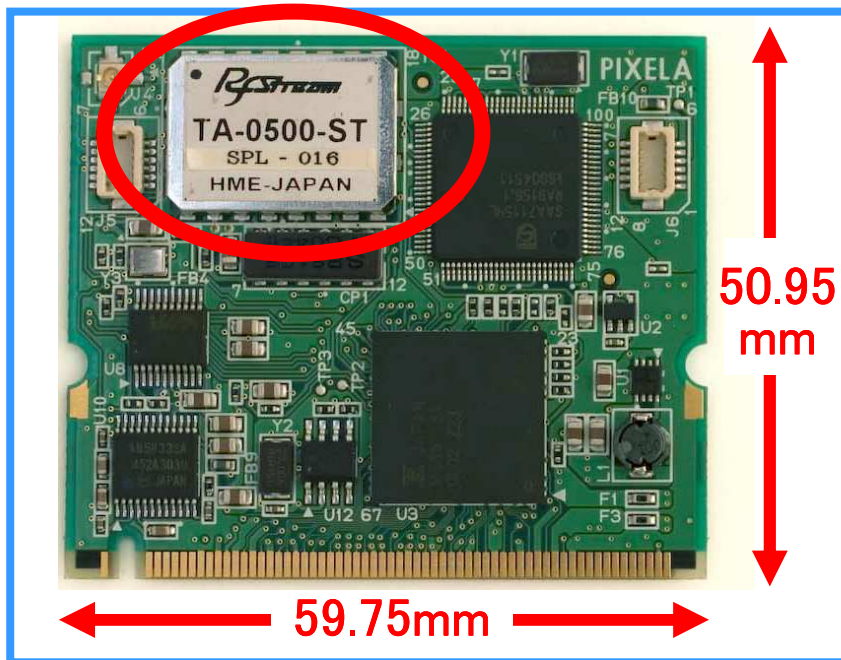
- ◆デスクトップパソコン用内蔵型
- ◆WindowsXP用
- ◆HLデコーダー(VA機能付)付属
- ◆BMLブラウザ付属
- ◆ARIBに準拠したコンテンツ保護



・出荷 2005年4月出荷開始
・販売形態 OEM販売のみ

トピックス テレビキャプチャー新製品 2

～低消費電力アナログテレビキャプチャーボード出荷開始～



- ・出荷 2005年5月出荷開始
- ・販売形態 OEM販売のみ

RfStream社製シリコンチューナー搭載

RfStream社製
TA0500ST



実装面積・消費電力比較

	寸法	消費電力
TA0500ST	21 × 15 × 2.2 (mm)	280(mW)
当社従来採用 カンチューナー	56 × 25 × 6 (mm)	1000(mW)

【環境影響】* 5年間で年間100万台出荷を想定した場合

廃棄物の削減: 52.5ton
CO₂ の削減: 368 ton
(電力量3,000KWH相当)



経営方針

シナジー効果による高い収益力を目指す

●ハードウェアビジネス

単なる完成製品の開発にとどまらない、RfStreamの半導体等優れた素材を活用することで他社との差別化を図ったビジネス展開

●ソフトウェアビジネス

AV機器へのアプリケーションソフトウェア単体のバンドルビジネスにとどまらないハードウェアと一体化したビジネス展開

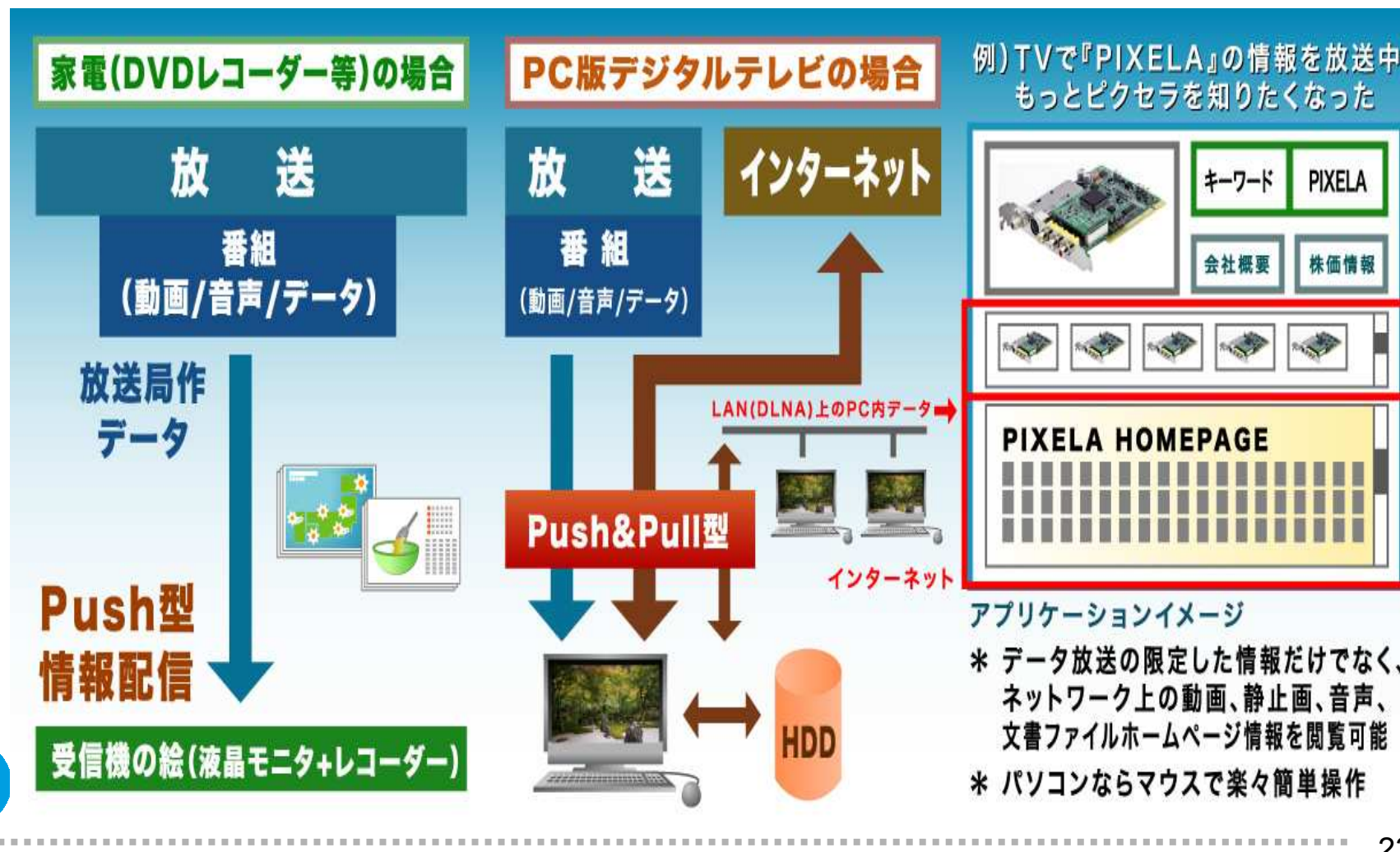
●コンテンツサービスビジネス

ハードウェア・ソフトウェアビジネスの付加価値をさらに高めるコンテンツサービスを軸としたビジネス展開



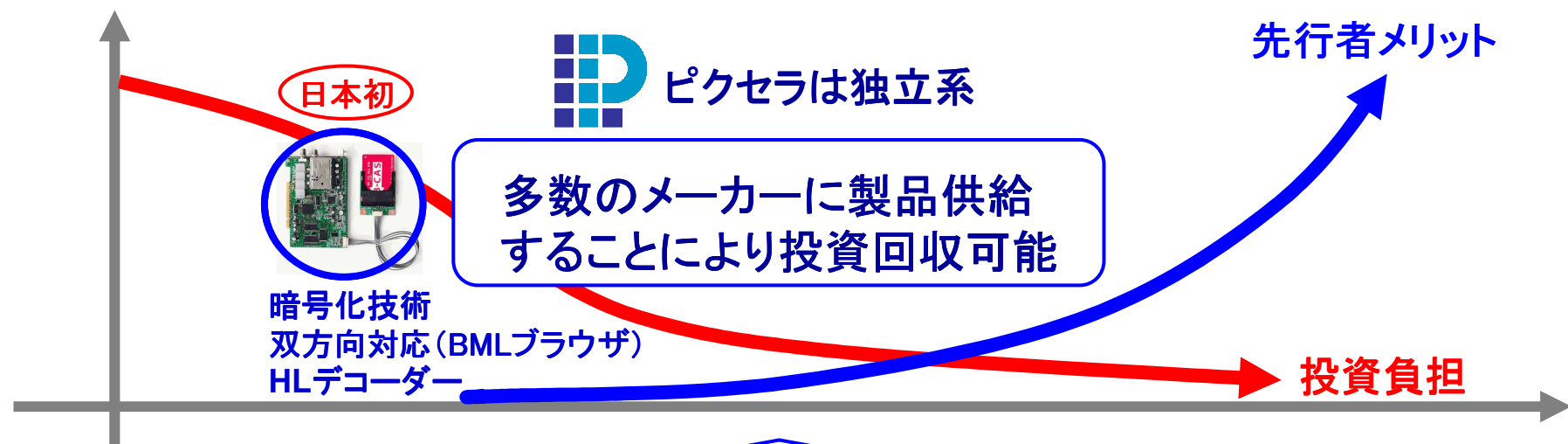
デジタルテレビ放送への対応

～デジタルテレビ放送におけるPCの優位性～



デジタルテレビ放送への対応

～デジタルテレビ放送におけるピクセラの優位性～



大きな投資負担
が必要なため、
大手PCメーカー
にとっても単独開
発の障壁

地上の開発
DIGITAL

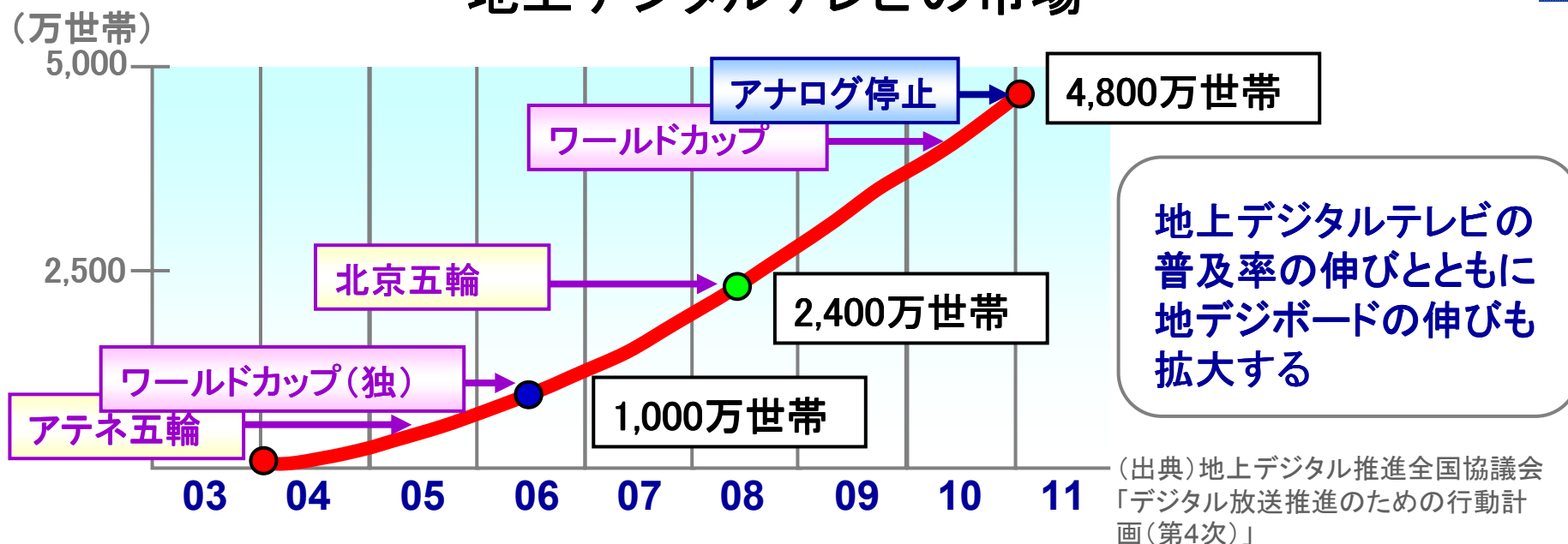
- 開発要素が多い
- ARIB規格が難解

ハード面・ソフト面が
絡む難解な規格の
ため、海外メーカー
にとって参入の障壁



デジタルテレビ放送への対応

～地上デジタルテレビの市場～



デジタル放送対応テレビキャプチャーボード引合状況

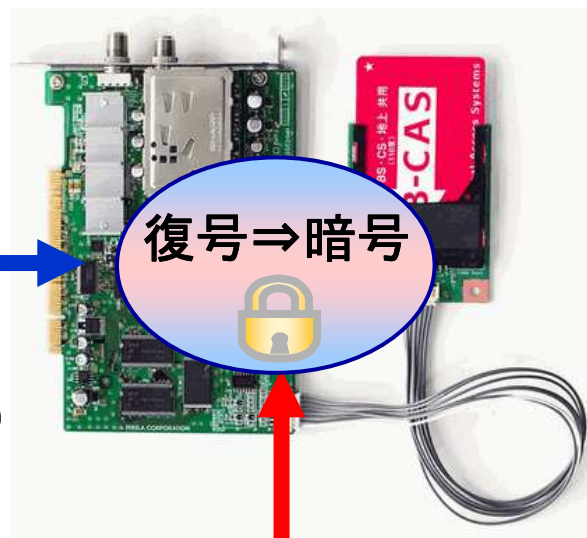
メーカー名	製品	供給開始時期
富士通	デスクトップ	2005/4
多数社と交渉中	デスクトップ	2005秋以降



デジタルテレビ放送への対応

～ピクセラの技術～

独自のコンテンツ保護システムを搭載



	パソコンA	パソコンB
パソコンAで録画されたデータ	○	×
パソコンBで録画されたデータ	×	○

独自形式暗号データ



100

デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオの特徴(サービス)～

サービス内容

- 多チャンネルも可能なCDレベルの高音質な音声放送
- データ放送による付加データ配信
- 5.1chサラウンド・ステレオ音声や簡易動画の伝送
- ダウンロードコンテンツ送信など蓄積型サービス
- 通信との融合により双方向サービス(物販・リクエスト等)

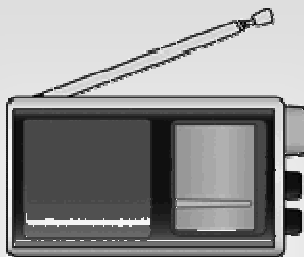
想定される番組内容

- モバイルユーザーをターゲットにした情報番組
- エリア情報、交通情報、ニュースなどのデータを連動した
簡易動画による音楽番組、スポーツ中継など
- カーユーザーをターゲットにした情報番組
- 位置情報と連動した情報配信、車内向サラウンド放送
- 固定受信をターゲットにした、高音質の音楽放送、情報番組



デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオの特徴(メリット)～



従来のラジオ
(見えるラジオを除く)

1対Nの不特定多数に向けたプッシュ型広域放送

音声のみによる情報伝達

単チャンネルの時間軸依存型編成



デジタルラジオ

データ放送による時間軸に依存しないプル型サービス

音声・動画・データを複合した多機能なマルチメディア放送(3セグ)

いつでもどこでも必要な情報・娯楽に接触できる

ライフスタイルにマッチした多様な情報・娯楽の選択ができる



多機能マルチ
メディア

蓄積型
サービス

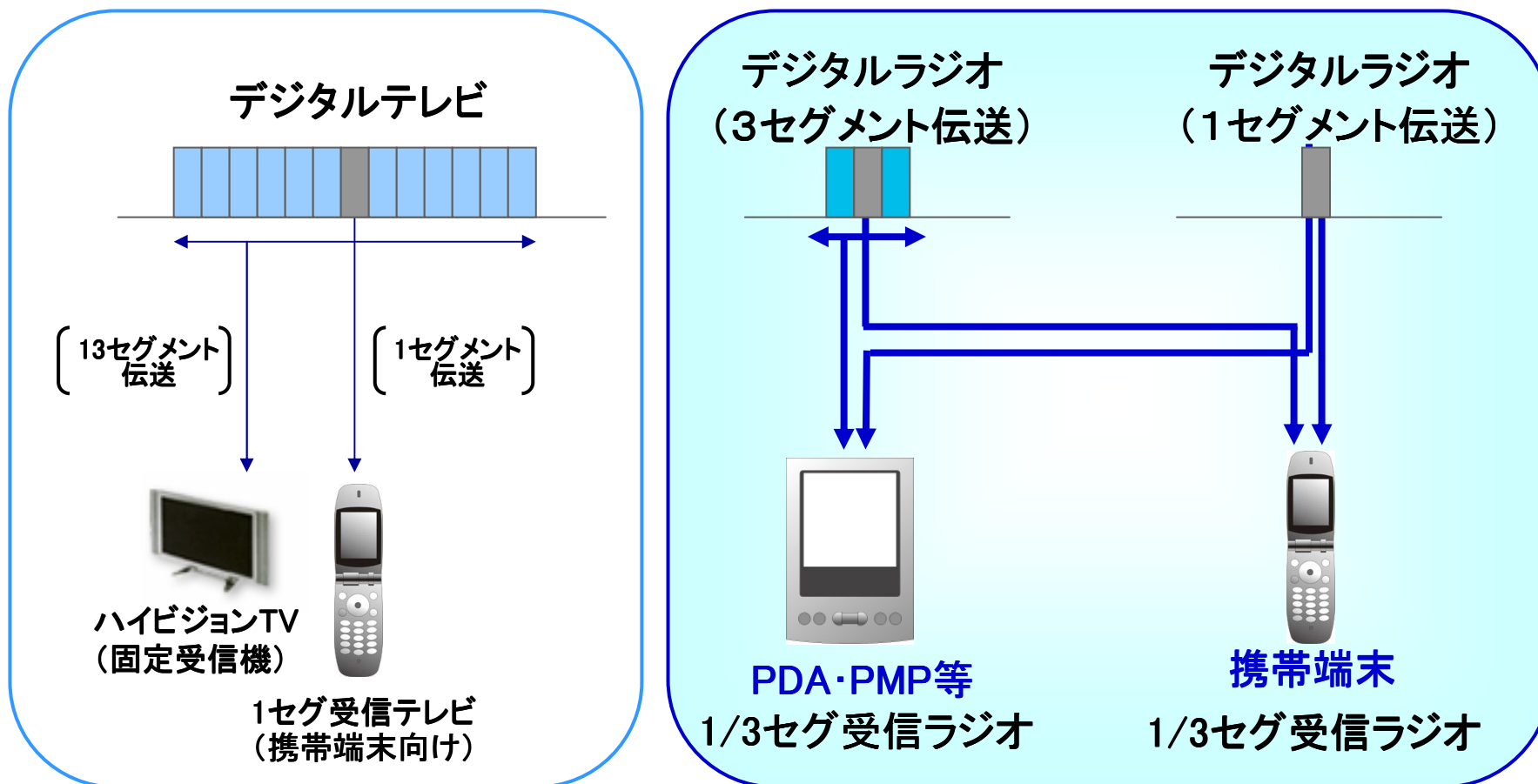
双方向性

モバイル

多チャンネル

デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオの特徴(伝送方式と受信機)～



マルチパスや移動体に強いOFDM方式※
による伝送



※直交周波数分割多重システム、無線などで用いられるデジタル変調方式の一つ

デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオ放送の今後の展開～

05年4月19日 日経新聞記事より

2006年度放送開始

新会社

(2005年内設立)

設立母体:

ラジオ局
受信機メーカー
通信会社
商社

チャンネル管理

ラジオ局 ラジオ局 ラジオ局 ラジオ局 . . .

携帯電話、車載端末などへの導入急ぐ...

将来は、カラー液晶搭載端末の全てにデジタルラジオチューナーを搭載可能

ピクセラのビジネス拡大へ



デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオ放送におけるピクセラの優位性～



デジタルラジオ規格にイニシアチブ
(唯一の受信端末開発メーカー)



PCカード型受信端末
(2004年1月出荷済)

ビジネス拡大への土壌

〔ソフト・ハード両方の重要技術を
ピクセラが保有〕



ポータブルメディアプレーヤー
(開発中)

- リテール製品
- ソフト＋基盤技術のODMビジネス
- 有償コンテンツサービス
- 放送コンテンツのオーサリングサービスビジネス



デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオ放送によるピクセラのビジネスの拡大～



デジタルラジオチューナー搭載
次世代型ポータブルメディアプレーヤーの開発



携帯電話

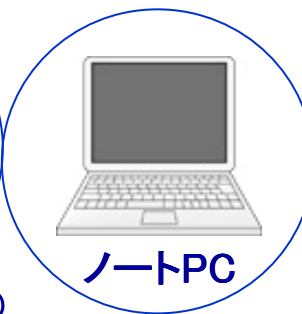


PDA



PMP

(ポータブルメディアプレーヤー)



ノートPC



車載端末



従設機器
(お風呂テレビ等)



据置型ラジオ





会社概要

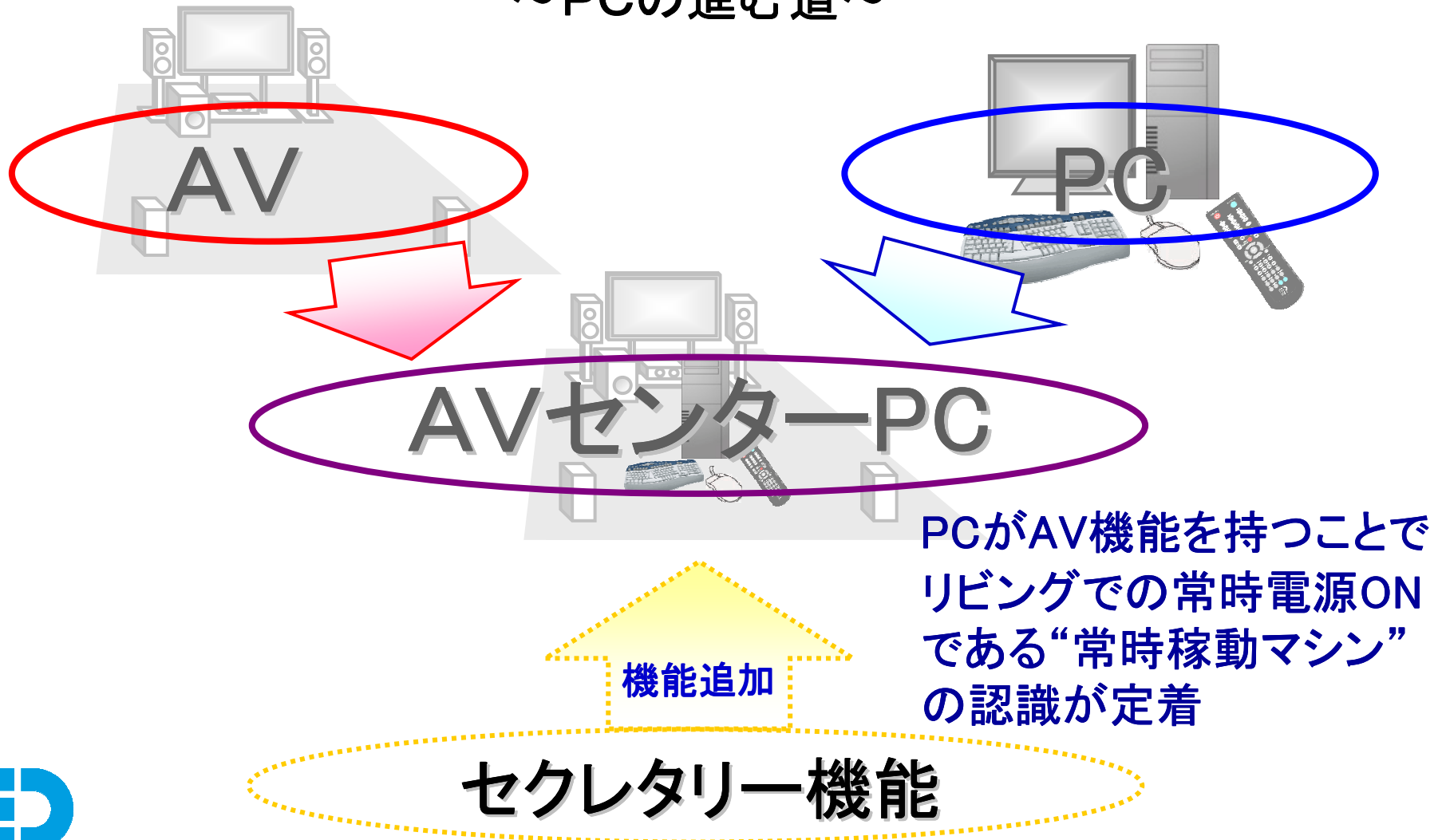
中間決算概要と通期見通し

営業の現況

事業展開

事業展開

～PCの進む道～



事業展開

～PCの進む道～

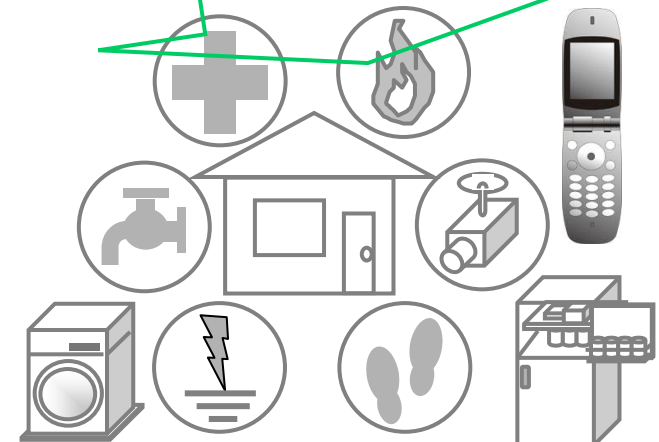
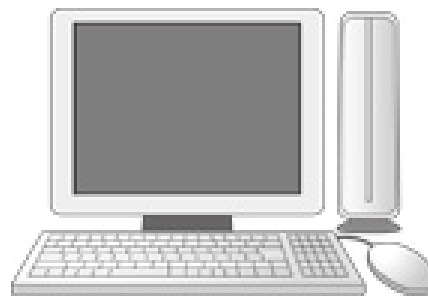
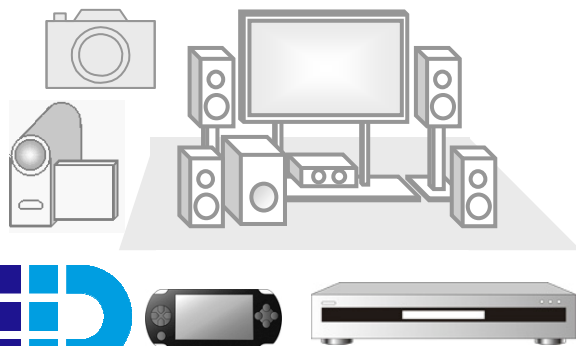
AVセンターPC

ホームセクレタリーPC

AV機能

PC機能

セキュリティ機能
ホームサーバー



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

